

第47回九都県市合同防災訓練 各都県市会場の訓練概要

訓練目的	大規模地震発生による甚大被害を想定し、医療関係機関と自衛隊・在日米軍との協同による医療救護活動や、国、九都県市、市町村及び防災関係機関による救出救助活動、避難所開設等による実践的訓練を実施し、自主防災組織を中心とした地域防災力の強化と防災意識の高揚を図るとともに、県市町村及び県内外防災関係機関の相互連携の強化と災害対応能力の向上を図る。
日時	令和8年9月1日（火）9時～12時（展示体験コーナーは10時～13時）
会場	神奈川県総合防災センター（厚木市）
規模	参加機関・団体数：約100機関 参加者数：約2,000名
想定	(1) 地震名称 大正型関東地震 (2) 地震規模 マグニチュード8.2 (3) 最大震度 7
訓練項目	(1) 被害局限訓練 (2) 自主防災組織による訓練 (3) 情報収集伝達訓練 (4) 道路啓開・緊急交通路確保訓練 (5) 救出救助訓練 (6) ホイスト救助訓練 (7) ライフラインの応急復旧活動訓練 (8) 医療救護活動訓練 (9) 避難所設置運営訓練 (10) 災害ボランティア受入れ訓練 (11) 救援物資輸送訓練 (12) 展示・体験コーナー
訓練の特徴	(1) 本県が幹事を務める九都県市合同防災訓練の中央会場として、九都県市合同防災訓練実施大綱に基づき九都県市及び政府と連携した訓練を実施する。 (2) 米軍や自衛隊といった組織の力を活用しつつ医療機関が一体となった医療救護訓練を継続実施し、「ビッグレスキュー」の趣旨でもある「誰一人取り残さない防災を目指して」という県のキーメッセージを県内外に発信する。 (3) 中央会場では、全国で最大規模の災害救助訓練場であるかながわ版ディザスターシティにおいて実践的な施設を活用した訓練を実施することで、県の防災に関する取組みをPRする。 (4) 災害関連死を防ぐ保健・医療・福祉に係るケアや、被災者のプライバシーの確保を考慮した効率的・効果的な避難所の開設等、昨今の災害で明らかになった問題点への具体的な取組みを重視する。
問合せ先	問合せ先：危機管理防災課訓練指導グループ 電話：045-210-3433